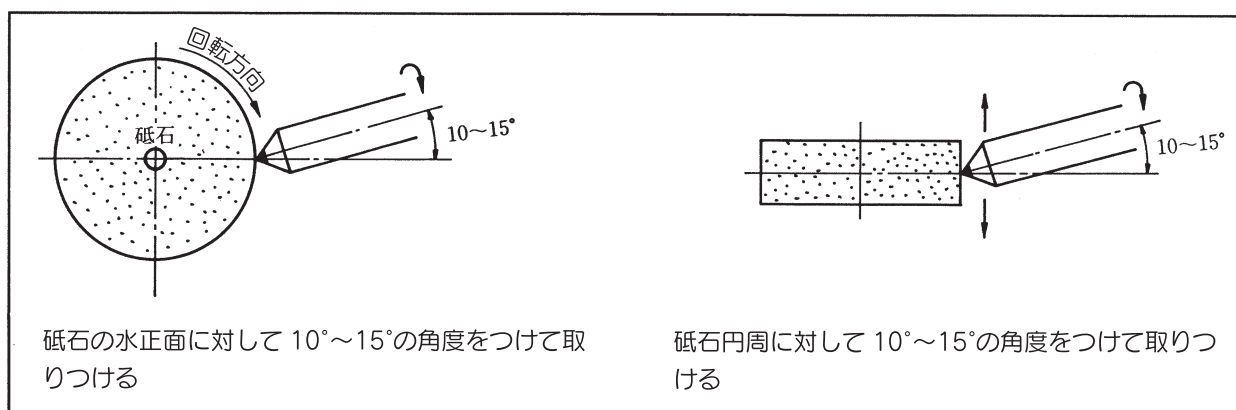


# 単石ドレッサー

## ◎使用上の注意

- 1) ドレッシング中は、ダイヤモンドに十分な冷却水をかけて下さい。  
注水が不十分な場合には、摩擦熱によりダイヤモンドの黒鉛化現象が起り、クラック、破損などが起り、寿命が短くなります。
- 2) ドレッシングの際、砥石面にダイヤモンドを一度に深く切り込ませないで下さい。  
ダイヤモンドは非常に硬いが衝撃にはもろいので、砥石の中央から左右に送ってドレッシングして下さい。
- 3) ドレッシングの切り込み量は1回に0.02~0.03 mm 以内にとどめて下さい。
- 4) ドレッサーはある程度使用しますと、摩耗して切味が悪くなってきます。その時は軸を廻して新しいエッジを使用して下さい。

## ◎使用方法



## ◎ダイヤモンドの大きさの選択

砥石の径 (mm)	砥石の厚さ (mm)	ダイヤモンドのサイズ
φ 150 >	25 >	1/3~3/4
φ 150~300	25	3/4~1
φ 300~450	25~40	1~1 1/2
φ 450~600	50~100	1 3/4~3
φ 600 <		2 <

ただし、結合度は M 以下の場合

### ●砥石の大きさの他の要因として

1. 砥粒が硬くなる程 (例えばA系よりC系) …大きめに
2. 砥粒の粒度が粗くなる程 …大きめに
3. 結合度が硬くなる程 (例えばMよりN以上) …大きめに
4. レジンボンド、ラバーボンドの場合 …大きめに